

最上川



倫理経営企業の素顔

第10回 山形市中央倫理法人会 有限会社 布施弥七京染店

布施将光社長、布施富将会長と
布施将英専務

目次

鈴木隆一会長 挨拶…………… 2	山伏修行体験塾参加者募集…………… 7	倫理を学んで…………… 15
晋道幹事長 挨拶…………… 4	倫理経営企業の素顔(第10回)…………… 8	倫理経営講演会のご案内…………… 16
富士研に参加して…………… 5	倫理経営講演会スタート…………… 11	編集後記…………… 16
北海道・東北方面会に参加して…………… 6	単会トピックス…………… 13	



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

ありがたい、 うれしい、 がんばりたい！



山形県倫理法人会
会長 鈴木隆一

春の喜び

春の朝散歩をすると、花や若葉が私にほほえんでくれるような気がします。私も「昨日より咲いたね、大きくなったね」と心の中で話しかけます。この瞬間が幸せ、そうこれがいい。4月、5月の朝を、うれしい気持ちでどこまでも歩いていこう。

春はあけぼの、うれしい時間

日の出の時刻がどんどん早くなり、朝の間が長くなりました。そしてとても清々しいのです。だからこの時間にうれしいことをたくさんしたいと思います。私がうれしくなるのは散歩や体操、掃除、片付け、鉢植えの水やり、そして新しい文章やスピーチ、計画、決意を生み出す創造的な仕事です。春は早起きをして新たな生活習慣を身につけるチャンスです。

朝は黄金の時間

朝は何でもすぐ着手できるし、何をやってもうまくいきます。なぜでしょう、とても不思議です。きっと朝は私が本来持っている能力を素直に引き出すことができるからなのでしょう。まさに黄金の時間です。一方、朝以外の時間帯は「この仕事、うまくやれるだろうか？」という不安や、「自分の能力はこれが限界だ」という固定観念や、「今はこの仕事で苦しみたくない、締め切りはまだまだ」と先送りする悪い習慣が私の心を押さえつけます。自分で自分にブレーキをかけているのです。

要らないものを捨てる

今年の倫理経営講演会で「出せば入る」という原理を学びました。その時、私が実践すべき「出す」こととは、「要らないものを捨てて心身を軽にすること」だと気づきました。物を捨てることによって不自然な心のゆがみを治し、いつでも私本来のすなおな心で生きようと決意しました。

このように私は倫理法人会で新しい生き方

を学んでいます。北村山倫理法人会設立運動の出会いからも貴重な学びがあります。

一人光る、皆光る

柴田設立実行委員長、早坂会長予定者をはじめ設立運動に積極的に参加している



の方々はみな明るく朗らかです。会議などで一人が発言すると、その明るい声やプラスの言葉によってまわりの人たちが一層明るくなります。だから私もみんなが明るくなるよう行動したいと願い、実際そのように行動しています。一人の明朗な心がまわりに波及して全体が明るくなる。その「一人光る、皆光る」の理想が北村山設立運動の中でごく自然に実現しています。

お会いして学べる幸せ

また、私は普及先で経営者の方々とお会いするのが楽しみです。ある経営者からはふるさとへの強い愛情を感じました。そこに住む人々や栽培される作物、その地域の歴史や文化を愛する心です。私も北村山の良さ、すばらしさを知り、愛したいと思えます。愛することによって「北村山をもっと良くしたい、

そのお役に立ちたい」という願いが育まれると思うのです。また別の人からは仕事への厳しき、社員さんへの強い愛情を感じました。みんな幸せになってほしいと願いながらお話をしました。

幸せになったことを伝える

普及活動で私がみなさんにお伝えしていることは、倫理に出会って私がどう変わったか、どう良くなったかということ。例えば自宅で朝の黄金の時間を有効に活用していること、会社の朝礼や体操のレベルアップに努め良くなったこと、家族との関係が良くなったこと、モーニングセミナーの雰囲気が見るく気持ちがいいことなどを話しています。

普及はうれしい！

普及活動とはこんなに楽しいものか、と改めて実感しています。相手の人と心を開いて話し合えるからうれしい、相手から学ぶことができるからうれしい。また、一緒に行動する方々からもたくさんの笑顔と勇気をいただいています。

たくさんの人に会うためにはたくさんの時間を確保する必要があります。そこで普及の時間を確保するためにスケジュール調整を一カ月以上前から実行しています。また、短時

間で充実した仕事をするよう努めています。

私の願い

私は新しく北村山の会員になられた方々が「喜んで倫理を実践したくなる会」を創りたい。そしてみなさんに幸せになっていただきたい。そうすれば幸せがまわりの人々へ広がっていくでしょう。だから私は初めてお会いする時から相手の人が倫理を実践したくなるようにお話をしています。また、北村山は「大いに交流して体験を発表し意見を述べ合う会」にしたい。そうすれば多くの企業が優れた倫理経営をして発展し、地域の未来が明るくなるでしょう。そのお役に立ちたい。それが私の願いです。

みんなが喜働する組織に

私は北村山での学びをぜひ既存の倫理法人会の活性化に活かしたいと思います。目指すのは、会長をはじめ幹部役員が「喜んで活動する組織」です。そのためには北村山と同様に1社1社訪問し、みなさんと話し合います。そして倫理実践のすばらしさを共有し、会の目的を明確にします。また、会員数を唯一の目標とするのではなく、活動量と質を当面の目標にします。何社入会したかより何社訪問したか、さらに何人が普及活動に参加し、そこで何を学んだかが重要です。心をひとつにするための話し合いや勉強会を行います。

しよう。みんなが喜んで行動する倫理法人会を創りたい、そのためにはどんな心構えが大切なのでしょう？

喜働は、感謝感謝から

ある日、私は幹部研修で「喜働は感謝から生まれる」という言葉を聞き、ハツとしました。喜働の出発点には必ず「ありがたい！」という恩意識、つまり強い感謝の思いがあります。私は倫理に出会い、実践してたくさんいいことがあった。それは誰のお陰でしょうか？私がこの世に生を受け、今こうして夫として父として経営者として活動できるのは誰のお陰でしょうか？今、私を支えてくれている人は誰でしょうか？私はこんなにも支えられて生きている。そのことを深く思い、ご恩のある人に会いに行き、心から感謝の思いを伝えること。そして約束すること。そこから喜働が生まれます。喜働とは「ありがたい、うれしい、がんばりたい！」ということ。感謝こそ、喜働する倫理法人会を実現する鍵なのです。

むすびに

春から初夏に向かうこの季節、山形県倫理法人会のみなさまが大いに倫理を学び喜んで実践され、ご自分もご家族も社員さんもまわりの仲間もみな幸せでありますように。

十五條「信成万事」実践の時

長かった冬眠から「倫理運動の目覚め」の時がやってきた。山形県倫理法人会の今年度拡充目標は1750社である。この目標が達成される年度の春がいよいよやってきたのだ。この時期の私の胸の内は「憂えと喜びの心」が同居している。でもこの心の葛藤は最終ラウンドで「喜びの心」に必ず軍配があるのだ。勝率は100%である。この自信と勇気とそして誇りをもって、北村山倫理法人会設立と既存13単会の拡充目標達成に勇往邁進していきたい。

北村山倫理法人会設立は、柴田実行委員長を中心とする実行委員会が至純至高で、東根市、村山市、尾花沢市、大石田町と三市一町のエリアを日々奔走している。会長予定者には誠実で度量の大きい現在天童市倫理法人会会員の早坂幸起氏が決定されて120社以上の会員が設立目標である。モーニングセミナー会場も東根市の「たびやかた嵐湯」で、毎週土曜日開催も決まっている。また、設立式典は6月28日に挙行されることが決定している。山形県14番目となる新単会は設立日に向けて実行委員会が感奮興起している。

そして既存13単会が目標をどう達成するか

が山形県倫理法人会、1750社達成の大きなターニングポイントになると考えている。1750社まで既存13単会であと154社以上の普及拡充が肝要です（3月31日現在の県会員数は1515社+北村山倫理法人会設立120社、今後の退会予測が39社とする計算です）。この現状打破は峻烈きわまる状況になっている。そのためには、ブロック長の最大の任務として担当単会の活性化を図りながら掲げている拡充目標を7月31日まで各単会が達成するよう残り4カ月間全力疾走してほしいと念願している。

4月からブロック長は、担当単会のモーニングセミナーに積極的に出席して、食事後役員と歓談しながら情報交換を図り、目標達成へのベクトルを合わせモチベーションを高めていただきたい。また普及拡充に同行してほしい。必ずやこの実践を繰り返しせば今までにない良い変化が顕われるはずだ。伊藤ブロック長、小島ブロック長、そして菅原ブロック長、どうか目標達成に向けて残り4カ月間、更なるご尽力を賜りたく切にお願い申し上げます。

北村山倫理法人会設立ホストの天童市、新



山形県倫理法人会

幹事長 菅道 純一

庄最上両単会は、移籍による会員減少が生じています。よって6月から県役員が普及拡充を重点的にサポートすることが、4月の役員会で決定されました。数値目標設定を企業経営に置き換えれば新年度の売上げと経常利益計画になります。無謀な高すぎるものではないけません。逆に低すぎるとは、目標設定とは言わないし、また達成感も共有することはないと思います。達成可能な目標（アチーブメントゾーン）を山形県倫理法人会は本年度設定いたしました。決めたことは、守るため、達成するためにあるのです。この境遇は、経営者なら体験していると思います。鈴木隆一県会長年度も3年目に入り、本年度が最終年度となっておりまして。1年目と2年目の数値目標は会員みんなの力で達成してきました。心を傾ければ達成できるものです。6月28日は北村山倫理法人会設立式典挙行、そして8月2日は、山形県倫理法人会1750社達成祝賀会を開催します。楽しい行事が続きます。わくわくしますね。さあ頑張ろう!!

富士研に 参加して



山形県倫理法人会
研修委員長 安藤 政則

2月16日～18日の富士高原研修所「経営者倫理セミナー」に参加いたしました。山形県からは21名の参加でした。定員35名の募集で



北村山設立を誓う同級生。
早坂会長予定者と水沢会長。



したが、今年は庄内最上ブロックからの参加者が半数以上を占めましたので、来年は他ブロックからの参加者が増えてバランスが整うことを期待しております。

富士研に向かう途中で東京都府中市にある多摩霊園に立ち寄り、丸山敏雄創始者の墓参を行いました。初めてのことなのでどうなるかと懸念しましたがスケジュール的にもとてもうまく行き大変良かったと思います。今後、富士研に参加するときは創始者の墓参を文化的伝統的な恒例行事とし、一新した心でセミナーに向かいたいという思いを強くいたしました。

研修内容については参加者各人がそれぞれの思いをいたしたことと思います。みそぎでは、健康管理のチェックが厳しくなっており、私にもストップがかかりました。血圧130以上だと参加できないとのことでしたが、高地であることと気持ちの昂揚からいつもより血圧が高めの方が大変多く、129名中20～30名くらいしか参加できなかったようです。

同じグループにいたどうみても私より具合が悪そうな方が血圧チェックにパスし、とてもびっくりいたしました。この健康管理ひとつ取っても、組織の長が変わるとやり方が変わるといふことを感じました。セミナーも心柔らかく、自分で考えて自ら行動することに主眼がおかれていました。これは倫理法人会においても同様で、研究所法人局の組織が

変わったことで、徐々に会の柔軟性や、自主的成長を促すようになってきたのではないかと感じているところです。

最近、研修について、県が推進する通年型の教育プログラムがあっても良いのではないかと思うようになりました。創始者墓参、富士研経営者倫理セミナー、ブナ文化フォーラム、山伏修行体験を一連の研修行事の流れとして捉え、県の次期会長の活動方針に記載していただいで、各単会の三役を中心に周知を徹底、準備、推進をしていくというものです。

もちろんその中には幹部研修も含まれます。今回、研修委員会では、単会正副委員長が集結して、指定単会の幹部研修を見学させていただきました。ブロックの垣根を越えての見学会でしたが、山形市中央や庄内中央のような新しい単会の研修はとても活性化しております。7つの原理など幹部研修の中でしたか教わることでできない深い倫理の学びがありますので、他の単会でもその大切な機会をより活性化していきたいと考えております。

普及拡大運動と同じように、県が研修活動を推進していくための活動方針と計画を持ち、それが単会活動に活かされて、会の活性化と充実につながるようになっていただきたと思います。単会拡充の要諦のひとつは研修にあると思います。研修参加者が増える仕組み作りを行ってまいります。

平成25年度北海道・東北方面会に参加して



山形市蔵王倫理法人会
会長 板垣喜代志

北海道、東北各県の県会長、幹事長、普及拡大委員長、各単会の会長、専任幹事が一堂に会する平成25年度北海道・東北方面会が去る2月23日、24日に開催されました。山形県からは27名が参加いたしました。

私は、今回が2回目の参加です。昨年は会津でしたが、今年は松島ということで、震災後あらためて被災地に足を運ぶことができませんでした。あれから2年も経ちますので、被害が大分改善していたように思いました。松島は塩釜や石巻などに比べると被害が少なかったようですが、大変な目に遭ったことは事実です。お見舞いをさせていただきながら2日間を楽しんでまいりました。

山形県の代表として、自己紹介や普及拡大についてスピーチをさせていただきました。その中で、山形市蔵王は「集める集団」ではなく「集まる集団」を目標としていることを発表させていただきました。かなり緊張いたしました。皆様から良かったと言ってもらって本当にありがたいと思いました。

また、今年は2回目ということで、1000名の方と名刺交換をさせていただくという目標を立てておりました。結果的に目標に近い数の方々と交換でき、様々な出合いと交流が

ありましたので、さらに喜びを感じながら山形に戻ってまいりました。方面会が終れば下半期です。残りの半年でもう一度蔵王を盛り上げていこうと思っております。

①キラキラではなくギラギラ

最近の蔵王は、気候も良くなって朝起きが早めに行けるようになったにもかかわらず、集まりがいきまいます。仕事があつてのことなので、あまり強制はできないものの、集まる集団を作るには皆がキラキラではなくギラギラしないと駄目です。集まる集団と言う目標がさらに浸透するように役員の皆さんに話をしていきたいと思えます。

②蔵王らしいMS、役員朝礼の再点検

これらは質の高さ日本一を目指してやっておりますので、さらにどうしたらよいかを役員会などで相談していかなければなりません。

③委員会内の連携の再確認

最近連携があまりよろしくないようです。下半期にもう一度それぞれの委員会を開催していただいて、それぞれの立場で会を盛り上げていただきたいと思います。

④県の拡大目標に向かってさらに協力していく

蔵王の拡大目標に関しては順調に進んでおり、間もなくクリアできるのですが、県の拡

大目標に向かってさらに協力してまいります。普及拡大委員会を中心に各委員会と連携を密にして、役員全員で掲げている「1人1社入会」の目標に向かって前進いたします。先日、津隈方面長から連絡があり、県内でトップを切って4月までの拡大目標を100%達成できたことにお礼と感謝の言葉をいただきました。このことを役員会で発表し、皆さんの頑張りを讃えつつ、さらに「1人1社入会」の浸透をはかり県の目標に近づけてまいります。

方面会で気づいたこと

- ・ 県外では100社を割っている単会があまりにも多い。普及拡大も良いが内部拡充がもっと大切である。(山形市 小松会長)
- ・ 被災なされた単会の方々が逆境の中でも会員数を増やしていることに感動した。(天童市 水沢会長)
- ・ おもてなしの心が一番大切。(寒河江市 海野会長)
- ・ 結果を恐れず、不安を持たず、まず動く。(上市市 田島会長)
- ・ 会長を筆頭に役員の活性化が決め手。様々な工夫が大事。(米沢市 相田会長)
- ・ 方面会での学びをしっかりと実践し、スローガン「オール酒田」を発揮する時が来た。(酒田市 木田会長)
- ・ 役員全員で魅力あるMSを。(鶴岡市 栗本会長)
- ・ 会はトップによって変わるを肝に命じます。(新庄最上 田中会長)

仲間との達成感を味わおう！

(山伏修行体験塾参加者募集)

青年委員会が発足して今年度が3年目となります。委員の皆様を支えられ、徐々に山形県の青年委員会らしさが形成されてきたと感じております。当初から「若手経営者と後継者を対象とした行事を開催する」「若手社員を対象として行事を開催する」という活動方針を掲げてまいりましたが、これを継続していく為にもうひと工夫必要ではないかと考えておりました。運良く委員長という役割を担う立場に置かせていただいた特権（勝手ながら）としてテーマを掲げさせていただきます。

3年目のテーマ「楽しさは希望」

実践し続けられる動機のひとつに「楽しさ」が挙げられるのではないのでしょうか。「面白い」「可笑しい」「興味深い」「殻を破れた」等々、きっかけはどんなものでも構いません。明るいところには人も心も引き寄せられる力があると言います。楽しさには明るい希望の種があるのでしょうか。万人幸福の葉、第14条「希望は心の太陽である」というように希望を常に持ち続けられる活動を青年委員会は継続していきたいと思えます。

さて、具体的な活動内容となりますと、若手経営者及び社員対象の講演会、山伏修行体験塾、後継者倫理塾が本年度の3本の矢とも言えるべき事業であります。

講演会では普段の業務にも関わる会計や販促の視点から、経営者そして倫理の考えへアプローチすることに挑戦しております。

特に山伏修行体験塾については、全国でも類を見ない山形県独自の行事です。「冬の富士研、夏の山伏」と念仏のようにキャッチフレーズを唱え続けておりますので、聞き及んだことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。昨年度一緒に修行をした倫理達とは何とも言えない絆を感じております。辛いと感じてスタートした修行も、気がつけば仲間と共に困難を乗り越えることが喜びと感じられるようになります。「乗り越えられる困難だけが与えられる」とも聞きます。仲間との達成感を味わう山伏修行体験塾は今年度も開催されます。更に多くの皆様に体験していただくたく参加をお待ち申し上げます。

平成25年度 山伏修行体験塾

第1回 平成25年7月8日(月)・7月9日(火)

集合 7月8日 13:00 いでは文化記念館

解散 7月9日 16:30 いでは文化記念館

第2回 平成25年7月10日(水)・7月11日(木)

集合 7月10日 13:00 いでは文化記念館

解散 7月11日 16:30 いでは文化記念館

【定員】 各回 25名 (申込締切日 6月10日)

【宿泊場所】 羽黒山宿坊「大進坊」
鶴岡市羽黒町手向字手向95

【参加費】 8,000円 (1泊2日コース)



山形県倫理法人会
青年委員長

池田 知之

倫理経営企業の素顔

第10回

山形市中央倫理法人会 有限会社 布施弥七京染店

創業365年！山形市中央倫理法人会布施富将会長の有限会社布施弥七京染店様を訪問いたしました。ご子息である社長の将光氏が山形市中央の朝礼副委員長として、また、専務の将英氏が山形市蔵王の青年委員長としてご活躍と、ご家族で倫理法人会を支えてくださっています。

朝9時30分に朝礼が始まりました。フロア



が豊ですので正座をしながらの呉服商らしい朝礼でした。老舗が受け継いできた創業の精神、経営理念の斉唱、経営計画書の確認を通して、伝わってきたのは、まさしく老舗の「日々誓詞」、「一貫不怠」の心です。継いで行くことの大きさ、重さを知る思いがいたしました。連絡事項の中で、今日やるべきことや昨日あったことについて、将光社長のお客様目線に立った、妥協の無い具体的な行動まで落とし込んだ指示がとても印象的でした。家族経営から企業経営へ転換する強い意志を感じる朝礼を拝見した後に布施富将会長、将光社長にお話をお聞きしました。

●金メダルを狙おう

【富将会長】 お蔭さまで、山形市中央が2月度のMS人数順位で全国681単会中第1位となりました。平均人数が127.75名でした。研究所では、毎月ランキング発表をいたしますが、そこにどのような意味があるのだろうかということがあります。ランキングがあるということは上を目指す活動をしなさいということ、やる限りは金メダルを狙おうと、山形市中央をスタートする時から会員の皆さんに言ってきたことです。若い人もベテ

ランもそれに共感してくださった結果ですので大変感謝しています。

【将光社長】 山形市中央が設立されたときに、父から半ば強制的に入れられました。入ってみて感じたのは一体感の素晴らしさ。皆さんがとても頑張って活動されています。他単会をよく知る方からは、山形市中央の役員の皆さんの活動姿勢がとても素晴らしくと言ってくさいますが、他単会をよく知らない私にはわかりません。

【富将会長】 山形市中央は大きなイベントをやってきたこともあって台所事情が厳しい。新年会もクリスマス会もできませんでした。ですから、何としても倫理経営講演会(倫講)を成功させたいです。役員さんの中には30枚も売ってくださる方もあれば、チケットを売りにたくても売ることができない人もいます。今の山形市中央の実力からすると、400人来ていただいたら◎だと思おうのですが、目標



は500人です。

講師が中西参与ということで、最高の講師が来ます。ですからできるだけ多くの方に講演を聴いてもらいたいと思います。倫講の動員ランキングが発表されていますが、現在1〜3位までは丸山理事長、4位に中西参与です。3位以上に食い込むように何とかしなければと役員さんたちが頑張ってくれています。

●会員増を目指して

【富將会長】 これまで、倫講のチケット販売を重点的に行ってきたのですが、反面、あまり普及拡大活動が進んでいません。まず倫講をやり終えて、それからふんどの締め直しです。

素晴らしい動員力を誇りながら、なかなか会員数が増えません。そのギャップが悩みです。MSに参加される若い人たちにとって入会するのは金額的に大変という声も聞こえてきます。また、入りたいと思ってもその一歩を踏み出せない人もおられます。会長として普及拡大の楽しさや大事さは充分判っていますし、夢かぎりなくの歌詞にあるように夢や希望を伝えていくことをとても大切だと自覚しています。倫講が終わり次第、今年度目標の130社に向けて全員で頑張ります。

【將光社長】 普及の楽しさや大事さは自覚していないですね。どうしてもロータリーやら



イオンス的な感覚があつて。倫理は実践なのですが、なかなかそこまではいきません。親父が会長をしているので、これは務めだと思つて毎回かかさずに行つていきますけれど。

【富將会長】 將光社長は店に来た方にお誘いをしてチケットを売っています。私は外に行つてチケットを売つてくるといふ気持ちが強い。倫理に入つても良かったという方がいる。義理で入つてくださった方もいる。倫理をその通りにやれば間違いなく会社が発展していくというのは判るのだけれど、では自分はどうか。単会運営のこと、倫講のこと反省すること多々です。とにかく前向きにやるしかありません。

【將光社長】 倫理では真面目に頑張っている人が山形にこんなたくさんいるのだと知りました。また、当たり前前することを当たり前前に行つてやることの大切さを知りました。葉を読むと

なるほどな、実際そういうことだよなと思ひます。例えば「出せば入る」というのは本当のことだと経験いたしました。倫理は宗教のように感じましたが、これは信じてもいいのではないかと思ふようになりました。こういう筋道というのがありますね。

私たちは商いを通して儲けていかなければならないし、また、売上を作つていかなければならない。一方で、人として恥ずかしくない生き方をしなくてはならない。これを両立していくことだというのは、倫理に入つて初めてわかったことです。

何でも良いから金が入れば良い、儲ければ良いというのではないということ。真面目な人たちが繁栄していくのが一番です。悪銭でなければ倫理は儲けて良い。しっかりと対価をもらつて良い。無欲至誠の心です。





●家業から企業へ

【将光社長】 当社の企業理念は、いろんなたたき台があつてできたものです。また、3年前から毎年経営計画書を作成して発表会を開催しています。1年目は経営理念や創業精神が無いと駄目だと教え込まれました。年次ごとにそれが血となり肉となり、徐々に当社らしく改善されていって今のカタチができました。初めはたたき台のままでしたが今はとても良いものになりました。その間、会長や専務が倫理で学んできて、こういうのも良いのではというものが骨子の部分にブレンドされています。

【富将会長】 ずっと家族で商いをやってきま

したが、今はスタッフが増えてきています。家業から企業へ移っていかざるを得ない状況です。家族がわがままではいけない。皆が心をひとつにして目標に向かって頑張っていく。この心をひとつにするという点では倫理が大変勉強になっています。

【将光社長】 トップリーダーとしての心構えについては、率先垂範に尽きます。専務とお互いに率先垂範をしています。専務はほんどん外に出ていくので、私は違った役割を担い、あうんの呼吸でバランスを取っています。

【富将会長】 将光社長が山形に戻ってきたときは、私が体調を崩した時期でした。先に店に入っていた将英専務には助けてもらいました。将英専務はナンバー2の意識。社長は専務の力を借りたいと面と向かって言っています。父が病に倒れたことで家業を引き継いだ私と同じことが起きた。私には、世の中の厳しさが判って自分が頑張らないといけないと継いだ経緯があつて。子供たちもそういう思いで継いでくれた。不思議なものです。

【将光社長】 江戸時代から店が続き、私で12代目。父から自分へ、そして息子へ。私たちは弥七教の信者みたいなものです。先祖も凄いいし、うちの店を残していただいた地域の人も凄い。このことと倫理はすごくリンクしています。朝礼や経営理念や経営計画書作りの方に倫理を利用しているのですが、こういう

言い方をするとこうまとまるとか現場でよく感じる人が多いです。

【富将会長】 老舗なので、倫理の道と大いにかぶる。倫理の教えからそれることなく会社を経営していければ間違いがないだろうと思います。

●今後の展望

【富将会長】 生活様式も変わってきている中で、私たちの扱っている商品が時代にそぐわない面がものすごくあるのです。その意味で呉服屋はものすごく激減しています。

着物は永く続いてきた歴史・文化の中で時代を伝えていきます。いつ流行した絵柄なのか判るし、中には価値あるものもある。保存が悪くて変質させてしまったものを元に戻す事業を「悉皆（しっかい）」と言います。

汚れていたら汚れを落とす、色がはげたら色をかけなおす、傷がついていたらかけはぎをするというように、着物を元の状態に戻す仕事のことです。悉皆は工房で職人さんがやる技術。これをやろうと思っています。

新品を買いに来るお客様と共に、着物のお手入れの必要なお客様のご注文を取る。これを私の最後の仕事にしようと思っています。

平成25年度 倫理経営講演会スタート



山形市倫理法人会
広報委員長 佐藤 啓

山形市倫理法人会平成25年度倫理経営講演会が2月25日(月)ホテルメトロポリタン山形にて、山形県内13単会のトップを切って開催されました。テーマは「運命は自らまねく」。法人アドバイザーの長橋護氏、埼玉県桶川市倫理法人会会長宮澤政信氏を講師に迎えしての開催となりました。



当日の山形市の天候は、前日からの記録的な大雪で山形新幹線は不通、山形自動車道が一部不通となり、講師のお2人をはじめ来場者が無事に会場へ来ていただけなのか、そんな不安もありましたが、会員企業の経営者や従業員、オブザーバーなど253名の方に受講いただき、ステージから見る客席は、ほぼ満席状態の盛況の中、無事に終えることができました。

宮澤会長の事業体験



理は「幸せになる法則」。宿命は変えられないが運命は、明るく朗らかに、気づいたらすぐやる事で人生は好転する。と教えていただきました。

来場者数を増やすという課題は残りしましたが、足元の悪い中、受講いただいた皆さん、遠方よりお出でいただいた長橋講師、宮澤講師のお二人に心より御礼申し上げます。



報告からは、高校時代、野球部で王貞治氏と対決された話など大変興味深く拝聴し、いい事は即取り入れる、やってみる、挑戦する、の前向きな企業姿勢で、釣り餌75%のシェアを誇る業界トップに自社を育てるまでの苦心談などをお話しいただきました。

長橋法人アドバイザーの講話からは、倫



山形市蔵王倫理法人会
広報副委員長 荒井 敏夫

平成25年度倫理経営講演会が3月8日に山形ビッグウイングで開催されました。

私が山形市蔵王倫理法人会に入会させていただいて3度目の倫理経営講演会です。

1度目は開催当日に東日本大震災が発生し中止になり、2度目の昨年は準備に追われ訳もわからないうちに終わり、3度目の今年はやっと少し落ち着いて全体を見渡せることができました。当日は朝から曇り空で、役員集合の午後3時ごろにはポツポツと雨が降り出しました。しかし受付開始と共に続々とお客様がお見えになり、蔵王のメンバーも笑顔になりました。

講演に先立ち、活力朝礼の実演が行われました。前盛朝礼委員長が率る、各企業から選ばれた精鋭7名が繰り広げた一糸乱れぬ気合漲る朝礼実演を見て、毎週の役員朝礼ももっともっと磨きを掛けなければと、改めて身の引き締まる思いになりました。続いて「出せば入る」のテーマで田形健一参与の講演で





す。土屋県広報委員長から「田形さんはとてもいいお話をされますよ」という事前情報もあり、大変楽しみにして始まりを待ちました。田形さんの会場内に低音で朗々と響く声に、すぐに講話に引っぱり込まれました。「呼吸、出入り口などと表現する様に、順番は出すが先で、入るのは後なのです」「支払日は人生で最も楽しい日」などのお話に、

今の自分の生活の盲点を突かれた気がしました。またサラリーマン川柳をいくつか例に挙げ、会場の笑いを誘いながらも家族や夫婦関係において、日頃忘れがちな感謝の気持ちの大切さを教えていただきました。個人的な話になりますが、私は家族だけで商売をやっています。丸一日朝起きてから夜寝るまで、一緒にいる時間は他のご夫婦に比べてもはるかに長いと思います。しかしその中身はどれだけ深く濃いものかと言えば、全く薄っぺらです。やっってもらって当たり前。そんなこと言わなくなっちゃって判っている（くれる）だろう。何か問題が起こればお互いに口では謝っても心の中では果たしてどうか？結婚して20年過ぎましたが崩壊せずに今日まで夫婦で居ることができたのは奇跡に近かったんだと今回の講話を聴いて気付かされました。しかし田形

さんは、いくら気が付いても実践しなければ逆に悪癖になるともおっしゃられました。まずは自分の振る舞いを「相手の立場に立って見直してみる」事を実践すれば、いつかきつと思いやりの滲む行動が身につくのだと思えました。言うは易く行うは難し……でもコツコツ頑張ります。



上山市倫理法人会
広報副委員長 岡崎 紘一

上山市倫理法人会の平成25年度倫理経営講演会が3月21日月岡ホテルで開催され、出席者134名が聴講した。

最初に事業体験報告として、北海道倫理法人会朝礼委員長であるエイジス北海道株式会社代表取締役佐藤邦明氏が「ピープルビジネス」と題して会社の理念や倫理経営の実践について熱く講演された。

流通業界の商品在庫を主体とする棚卸の代行業務として、正確により早く遂行することが大切という。しかし、従業員の事故発生によって、会社の信頼を大きく揺るがす事態となり、自身の倫理活動を見直し、基本動作を徹底すること、活力朝礼を確実にす



る、普及活動を実践することを3つの柱として、倫理経営を進めていることを話された。ピープルビジネスとは、人を大切に作るビジネスであり、そのためには従業員の質を高めるための教育をしっかりとやり、正確な仕事をするのが大切だと結んだ。

第2部の講演は、テーマ「運命は自ら招く」と題して（社）倫理研究所法人局澤秀一郎法人スーパバイザーが講演された。澤氏は以前にも1度上山市倫理法人会で講話され、氏独特のアイデアとその実践力は大変素晴らしいという思いが頭を離れない。

人生は思い通りに行くものと断言する。うまく行かないと思えばうまく行かず、うまく行くと思えばうまく行くという。40歳代での手術を機にその後夫婦愛和の実践をしているという。心が明確に相手に向かっていければ理解される。あいさつ、返事はしっかりすること、そしてスマイルが大切だと氏は言う。つま先理論とのこと。運命は自分で変えることができる。そのためにはたゆまぬ実践が必要で、実践すれば希望する道が開けると強調された。実践の時に注意することは、自分の役をよく理解すること、役に徹すること、役を越えないこと、役を楽しむこと。

澤氏の豊富な人生経験を聴講し、成る程と云うなずける内容であり、氏の人なつっこい人柄が人生を豊かにしている源点でないだろうかと感じた講演であった。

単会トピックス



山形中央倫理法人会
広報委員長 丸子 芳史

平成25年2月7日に、山形国際ホテルにて行われました「300名経営者モーニングセミナー」は、株式会社てっぺん代表取締役大嶋啓介氏をお迎えし「一人が輝けば、みんなが輝く、みんなが輝けば、山形が輝く」と題し、ご講話いただきました。昨年11月に開催しました200名経営者モーニングセミナーでは、300名を超える参加者にご出席をいただいたこともあり、事前打合せ時に「300名を超えるセミナーにしよう」となりました。齋藤康顕実行委員長のもと、目標達成のため役員一丸となって取り組んだ結果、158社350名という多くの皆様からご出席をいただき、無事に終えることができました。ご参加いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。



天童市倫理法人会
専任幹事 高橋 進一

希望の明日を切りひらこう

モーニングセミナーで、講話者の方が精神的に辛かった時のことをサラリと言葉にしたお話を拝聴させていただいていることで、どんな時でも「希望を持つ」「必ず明日がある」という想いが宿ってくるようになりました。平成25年を迎えるにあたり、人間関係や資金繰りなどで精神的に追いつめられようとも「そんなことは些細だ。もともとっと希望を持って進んでいこう」と大局的で強く深く心に刻んでいただくことができる「特別モーニングセミナー」を新春に開催したいという想いに駆られました。

そのためには「生の喜び」を実感していただくことと考え、生死の惨事から立ち上がり、「倫理があったからこそいまがある」と断言する仙南倫理法人会の佐藤会長に講話者をお願いさせていただくことになりました。

その際、新年のカレンダーをめくり三月の水曜日（天童MS）を目で追ったところ、3月13日（水）が飛び込んできました。この日程は、「強く深く心に刻んでいただく」には絶好の期日でした。3・11前後は、丸2年という節目の追悼がテレビや新聞等で多くとりあげられ、「いまでできることはなにか」と誰もが考えている時であり、そんな時だからこそ佐藤会長のお話がスツと心に受け入れられ、「生の喜び」や「喜働」まだまだ頑張らね

ば！」という希望のエネルギーに必ずなってくれる、と信じて疑わず、各単会の皆様方に天童特別MSをお伝えさせていただきました。天童としては、平成15年9月10日、丸山理事長以来の100人超参加者となるMSでした。

私たちが生きていくための心持ちとして、どんな大変な環境や条件下であったとしても、決して憂いたりせず、ツラく暗く沈んでいる時こそ、重いとびらを開ける時のごとく、ひたすら踏ん張って前へ前へと自分を進めてまいりましょう。



南陽市倫理法人会
事務局長 青木 勲

今年度第2回目の50人モーニングセミナーの日を迎えて

今回の講師は、日本青年会議所山形ブロック協議会会長の鹿又源州氏。南陽市出身であり、これからの南陽市そして社会全般を背負って下さると会員皆が人物そして講演を期待しておりました。

当日は朝は一段と寒い：マイナス6度、昨年を超える雪に道路は圧雪凍結。

開始10分前、チラホラ出席者はいるけど10人に満たない。やはり、こんな時期に開催したのは失敗だったかな？と思いつつ再度、出

席者人数確認をしている最中に……。あらかつ講師の姿がない：



見れば外はますますの雪、これは非常に困ったことにと思いますが、茫然と外を眺めておりました。が、開始5分前に講師と前後して、青年会議所メンバーが続々と入場してくると場内は力溢れるエネルギーで室温アップ、暖房器具なんて飾り物に。

そして講師も、いつもなら目覚めてから間もない時間だろうに、仲間の力のおかげか姿勢もよく話の内容も良く年配者たちも熱心に話に聞き入っており、大変に良い。MS終了後の朝食会も、いつもよりは人数が多く和気あいあいとし、南陽名物の食後の朝茶会も、普段とは違った雰囲気盛り上がった。

いつものMSの勉強になる話だけでなく、若い力（エネルギー）を供給して貰え大成功に終わりました。



酒田市倫理法人会

広報委員長 佐藤 俊一

去る3月5日、酒田市倫理法人会会場で、幹部研修として、県法人会青年委員長の(有)サンジン代表取締役池田知之氏をお迎えして開催されました。人は良い質問に会えば人



生を変えることもできると、力説。あるワークシートを使い、ゲーム感覚で実践に入りました。3〜4人のグループ分けを行い、共通点ゲームを行いました。人は、共通点があればあるほど仲良くなるのができるとの流れで、その場の雰囲気盛り上げる。個々に、自分が今抱えている問題を1つずつ発表、それに対して、いいねと賛同、言葉でもって相手を認める行為を強調すること。

そうすることで肯定的な問題解決の言葉が自ずと湧いてくるというものでした。問題解決にこんな方法もあるのか!!

法人会員には面白い人がたくさんいる！と実感した研修会でした。



鶴岡市倫理法人会

女性委員長 伊藤 久美

男性会員の参加が多いMS。それを支えているのは奥様方です。その奥様方はどれほど倫理活動についてご理解いただいているのでしょうか。そんな素朴な疑問から女性のためのランチ例会を開催することになりました。

先日開催したその準備委員会での意見として、会の活動内容がよくわからないということに加え、子育ての悩みを相談する人が近く

にいないなどという子育て真最中のお母さん方の悩み事の多いことに驚きました。

ランチ例会の目的は、倫理の情報を提供しながら会の理解を深めてもらうことですが、子育ての悩みを気軽に相談できる「ほっとするコミュニティの場」としても大きな役割を果たせると思います。しかも定期的に開くことにより、コミュニティの輪を広げ、女性ならではの口コミによる無理のない普及にも繋げることが出来ます。私たち女性委員会は、様々な企画を通して、楽しいランチ例会になるよう精一杯努力していきたいと思えます。



米沢市倫理法人会

広報副委員長 山村 靖子

PR活動紹介

米沢市倫理法人会は会員数130社、モーニングセミナー出席者を40社40名以上を目標に掲げておりますが、現在の会員数は120社前後を推移し、モーニングセミナー出席者は平均20社20名程度です。時折、会長からモーニングセミナー案内のショートメールが届くことがあり、会長の目標達成へ



の強い意志を感じます。また、3月からはエフエムNCVで月・水・金曜日7時58分からと月・金曜日12時34分から各々20秒のCM放送を始めました。会長がモーニングセミナーの様子などを紹介し、セミナーの参加や倫理法人会への入会を呼びかけております。

さらに、PRに最も有用な倫理経営講演会が本年は「運命は自らまねく」をテーマに4月17日に開催されます。その決起大会が、2月14日18時30分より米沢市内「サムタイム」において行われました。中村恵一副会長が「至誠にして動かざる者は未だこれあらざるなり、誠ならずして未だよく動かす者はあらざるなり」と吉田松陰が引用した有名な孟子の言葉を開会の挨拶にされました。例年、講演会の集客には大変苦労しております。決起大会参加者13名は、誠を尽くせばどんなものでも動かすことができることを肝に銘じ講演会の成功に向け一致団結しました。



寒河江市倫理法人会
会長 海野 晋

新聞折り込みチラシ

この度、寒河江市倫理法人会で新聞への折り込みチラシを作成しました。寒河江では、いままでも広報委員会を主体に広報誌「寒河



村山郡（中山町をのぞく）の地盤に折り込みチラシを配布しました。これは、会員になられていない企業や会員企業様であっても倫理法人会という団体をよく知らない従業員様やそのご家族にも知ってもらおうという目的がありました。寒河江はちょうど設立十周年を迎えます。その区切りの年でもあるので、中村恒一相談役から発案されたものを素直に取り組んでみたのです。結果、多くの方々にも読んでいただき、倫理法人会の活動とその目的を理解いただき、お褒めの言葉も多く頂戴しました。1回の配布で多くのことを期待はできませんが、継続的な事業として取り組むことができればと考えております。



山形市蔵王倫理法人会
広報委員 土屋 和浩

倫理慰労観桜会

まだ、桜もつぼみの時期でしたが、去る4月18日に蔵王の会員企業である「焼肉苑」様にて、毎年恒例の観桜会が開催されました。

今年も、3月に行われた倫理経営講演会で、大変素晴らしいお手本を披露していただいた朝礼実演のメンバーも交えての慰労交歓会になり、およそ30名が参加しました。

桜観るなら 花よりつぼみ

今日も酒々 明日も酒々

という都々逸にあやかるような素晴らしい地酒と焼肉そして気仙沼のあさひ鮎様の握り寿司を堪能しました。朝と夜ではこんなに違うのかという元気溢れる体育会系のノリは毎度のことです。最期に全員に八重の桜が手渡され、これにて今年の倫理はしゃんしゃんしゃん。いよいよ普及拡大の熱い夏を迎えます。

倫理を学んで



新庄最上倫理法人会
事務長 竹田 正弥

雪が解け、春の暖かな日が到来。豪雪の新庄にも、やっとふきのとうが芽ぶき春が到来しました。朝も、どうにかこうにか起きやすくなりました。

さて、私が倫理にて実践しているのは、早起きの実践です。時間の使い方がたくそな私は、夜になってもだらだらと仕事をしていました（まだ、その癖がなかなかとれず、

困っています。いっそきつちり、定時まで、仕事を終え、朝は4時半に起床をし、除雪もそこそこに資格試験という目標を持ち、やってみましたところなんとか合格していたようです。ちょっとしたことですが、幸先よいスタートでした。

朝は、能率がいいみたいです。これからも早起きの実践をし、仕事を通し地域に社会に貢献していきたいと思えます。



庄内中央倫理法人会
研修委員長 大滝 清雄

1年前できたばかりの庄内中央倫理法人会に入り、あっという間に1年になろうとしています。週一回貴重な体験談と実践されているお話等楽しみに参加させて頂いています。思い切って参加した富士研セミナーも多くの出合いの場となりました。8人グループのリーダーに選ばれ、「なれあいでない優しさ、責め心のない厳しさ」常に前向きな姿勢と実行力」メンバーの皆さんから教えられる事ばかりで本当に意義ある研修でした。こんなにちは、ありがとうございます、打てば響く「ハイ」の一言等、自分でもできる事から実践して行きたいと思っています。仕事や地域活動にも生かせるよう、皆さんのご指導よろしく願います。

平成25年度 倫理経営講演会のご案内

長井市倫理法人会

日時 平成25年5月21日(火) 18:30～ **体験報告**
会場 タスパークホテル **テーマ** 運命は自らまねく

寒河江市倫理法人会

日時 平成25年5月23日(木) 17:30～ **体験報告**
会場 グランデール寒河江 **テーマ** 運命は自らまねく

庄内中央倫理法人会

日時 平成25年5月24日(金) 18:30～ **体験報告**
会場 響ホール **テーマ** 出せば入る

新庄最上倫理法人会

日時 平成25年5月27日(月) 18:30～ **体験報告**
会場 ザ・リヴィントン **テーマ** 出せば入る

南陽市倫理法人会

日時 平成25年6月10日(月) 18:00～ **体験報告**
会場 熊野大社 證誠殿 **テーマ** 出せば入る

鶴岡市倫理法人会

日時 平成25年6月12日(水) 18:30～ **体験報告**
会場 グランド エル・サン **テーマ** 運命は自らまねく

酒田市倫理法人会

日時 平成25年6月25日(火) 17:30～ **会場** ガーデンパレスみずほ **テーマ** 出せば入る **体験報告**

編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 土屋 和浩

関原新山形県広報副委員長が去る2月12日、享年55才にて永眠されました。生前のご厚情に感謝し謹んでお悔やみ申し上げます。

関原さんは、Facebookで私の書いた記事すべてに「いいね！」を押してくださいました。お仕事の関係から、なかなか委員会に参加できない中にも、広報活動についてとても気にかけてくださり、また、頑張りよと背中を押された気持ちでおりました。その「いいね！」も事故があったあの日以来ぶつかりと途絶えてしまいました。

お亡くなりになった1月後、3月24日の関原さんのページには「お誕生日おめでとう！」のお祝いメッセージが多数残されていました。友情の証が残る関原さんのページがいつでもそのままであって欲しいと思います。



URL
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>